



令和6年度 認知症啓発イベント「オレンジフェスタ北本 2024」開催報告

1 目的

世界アルツハイマー月間における取組として、市民向けに認知症の啓発活動を行う。認知症が誰でもかかる可能性がある疾病であることを理解してもらい、認知症当事者やその家族が暮らしやすい地域づくりを目指す。

2 対象

認知症当事者やその家族だけではなく、地域で活動されている方や、認知症に関心のある多世代の方を対象とします。

3 開催日

令和6年9月4日（水）午前10時～午後3時

4 開催場所

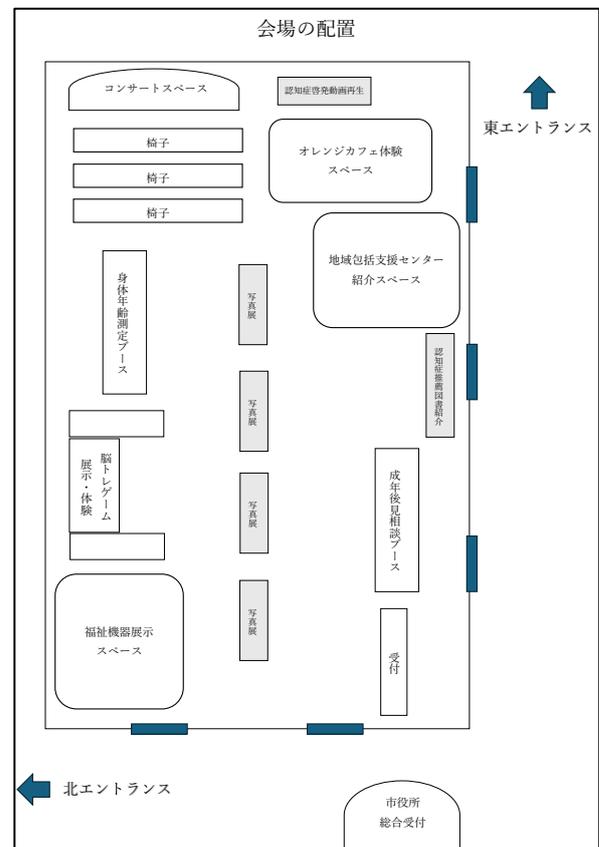
市庁舎ホール

5 来場者数

199名

6 内容

- (1) 参加型ミニコンサート
- (2) 北本昭和写真展
- (3) 認知症に関わる福祉機器展示
- (4) 行政書士による成年後見相談
- (5) 脳トレゲーム体験
- (6) 身体年齢測定
- (7) 地域包括支援センター紹介
- (8) オレンジカフェ体験



## 7 主催

北本市地域包括支援センター

## 8 共催

北本市、北本市社会福祉協議会

## 9 協力

ひまわり館（福祉機器展示）、公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター（行政書士相談）、ぴよたん倶楽部（脳トレグッズ製作・展示）、薬局アポック北本店（身体年齢測定）、きよしとゴールドトリオ（コンサート出演）、美ら美ら（コンサート出演）、TomTom（ポスターイラスト）

## 10 広報・周知

8月号市広報、SNS 広報、ポスター掲示、チラシ配布

ポスター掲示については、公共施設やスーパー等のほか、桶川北本伊奈地区医師会や北本市薬剤師会、北足立歯科医師会に御協力をいただき、市内の医療機関や薬局にも掲示していただきました。なお、ポスター製作にあたっては、市内で活動されているイラストレーターTomTom 氏に御協力いただきました。

## 11 啓発物の作成

認知症啓発のシンボルとして、新たに横断幕を作製しました。また、認知症相談窓口（地域包括支援センター）の連絡先を記載したてうちわを配布し、周知を行いました。



## 12 当日の様子

### (1) ミニコンサート

午前の部は、市内ボランティア団体「きよしとゴールドトリオ」による童謡や歌謡曲の演奏、午後の部は、同じくボランティア団体の「美ら美ら」による沖縄音楽の演奏を行いました。参加型演奏であったため、多くの来場者に御参加いただきました。



きよしとゴールドトリオ



美ら美ら



来場者の皆さんも歌唱や踊りに参加してくださいました。

## (2) 北本昭和写真展

文化財保護課の協力により、北本市の昭和時代の写真を展示しました。昔の写真や映像を観ると認知症が改善されるケースがあるため、回想法の観点から現在の70代、80代の高齢者が活躍していた昭和40年代前後の写真の展示を行いました。



高齢者だけでなく、幅広い年齢の方に興味を持っていただきました。

### (3) 認知症に関わる福祉機器展示

福祉用具レンタル事業者「ひまわり館」の協力により、認知症に関わる福祉機器を中心に展示を行いました。その他、介護に関わる消耗品や歩行器等、幅広く展示を行い、福祉機器のデモを行ったり、実際に手に触れていただきました。



薬の飲み忘れ防止や離床センサー等中心に展示

ひまわり館マスコット「スフィン」君も来庁しました。

### (4) 行政書士による成年後見相談

「公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター」の協力により、行政書士による無料相談ブースを設置しました。認知症高齢者の家族等から成年後見制度に係る相談を受け付けました。



3名の行政書士が丁寧に個別相談に対応しました。

### (5) 脳トレゲーム体験

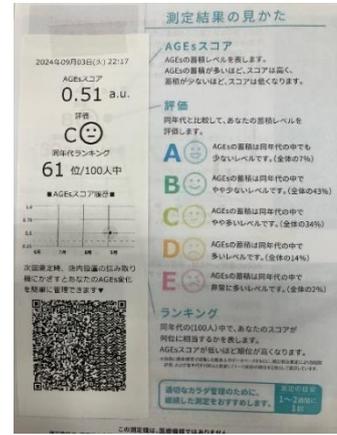
市内で脳トレゲームの製作を行っているボランティア団体「ぴよたん倶楽部」の協力により、認知症予防となる自作の脳トレゲームの展示・体験ブースを設置しました。製作者の方が来場者に丁寧に説明を行い、高齢者だけではなく、小さなお子さんもゲームを楽しんでいました。



手作り精巧に作られたゲームは全 14 種類

### (6) 身体年齢測定

「薬局アポック北本店」の協力により、測定機を使用した身体年齢測定を実施しました。なお、測定後は、薬剤師による健康指導やアドバイスを行いました。



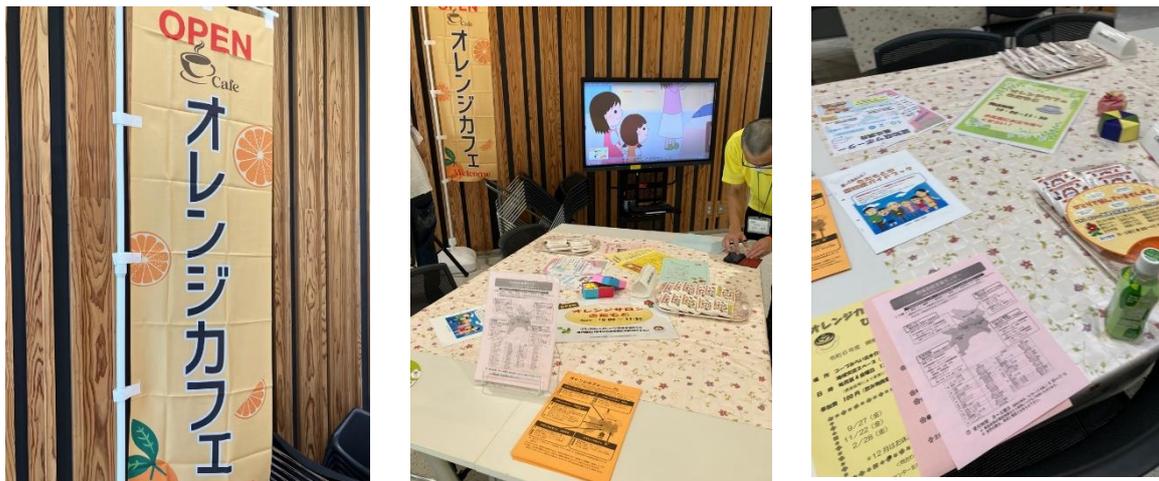
診断後は測定結果票が出力、同年代と比較しての身体状況、ランキング等が示されます。

### (7) 地域包括支援センター紹介

広く地域包括支援センターの活動を知っていただくために地域包括支援センター職員による展示を行いました。市内 4 か所のセンターの担当圏域を示した地図やセンター職員が選んだ認知症推薦図書を紹介、各種認知症関係のリーフレットの配布等を行いました。



(8) オレンジカフェ体験



オレンジカフェ体験スペースでは、毎月市内5か所で開かれているカフェを再現し、認知症啓発動画の上映も行いました。

(9) その他会場の様子



### 13 評価

昨年度イベントよりも多くの団体やボランティアからの協力をいただくことができ、内容的にも認知症についての理解や関心をより深めるものとなりました。また、当事者や家族だけではなく、様々な世代の市民に來場していただくことができ、昨年度のイベントよりも啓発効果は高かったものと考えます。

なお、地域包括支援センターの特設ブースを設置することで、オレンジカフェをはじめ、地域包括支援センターの活動や役割について、より多くの人に知っていただくことができました。

### 14 課題

平日開催であり、1日のみの開催であったことから、想定していた程、來場者数が伸びませんでした。また、庁内での開催であったため、コンサート演奏の際は、音漏れ対策で会場のドアを閉め切る必要があり、その間、來場者入場が停滞した時間がありました。また、会場が手狭であったため、相談ブースや展示ブースのスペースがあまり大きく取れず、イベントとしての規模感は小さい印象となりました。

### 15 次年度への方向性

次年度は複数日での開催を目指し、会場スペースも拡大し、より広くの世代が認知症に関心を抱くことができる企画や演目を取り入れたいと考えます。今回のイベントを通じて、認知症啓発事業に協力してくれる団体や個人ボランティアを多く発掘できたことから、このネットワークを活かしつつ、より多くの方に関わってもらい、啓発効果の高いイベント開催を目指したいと考えます。